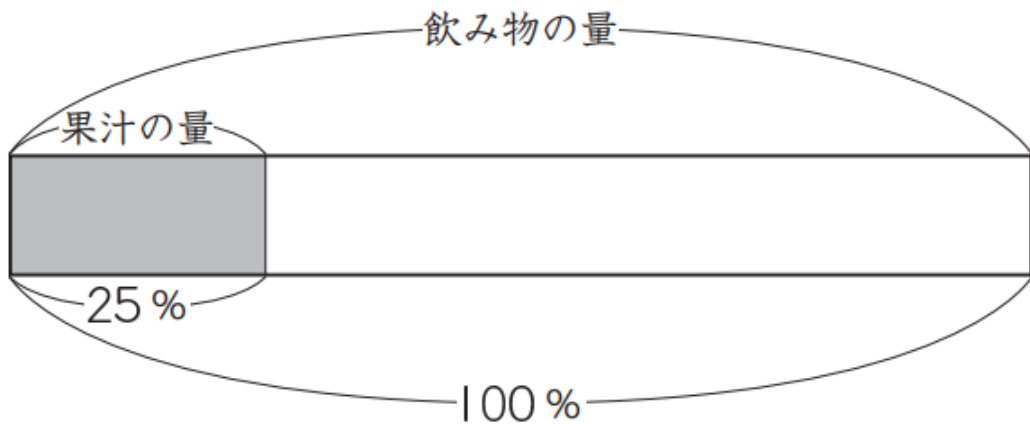




この問題解けるかな？
全国の小学生が
挑んだ問題です！

- (1) オレンジの果汁が25%ふくまれている飲み物があります。
飲み物の量をもとにしたときの、果汁の量の割合を分数で
表しましょう。



答えは最後の
ページにあるよ



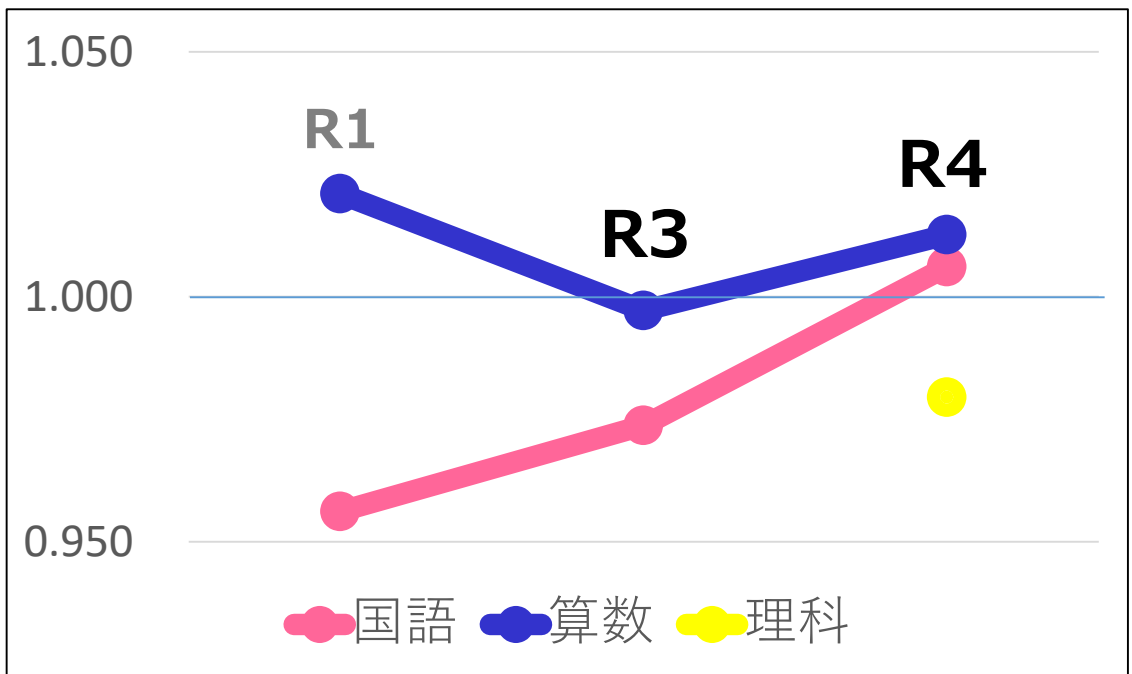
	正答率
枚方市	73.9
全国	71.1

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 概要>

平均正答率

小学校	枚方市	大阪府	全国
国語	66	64	65.6
算数	64	63	63.2
理科	62	60	63.3

結果の推移 (対全国比)



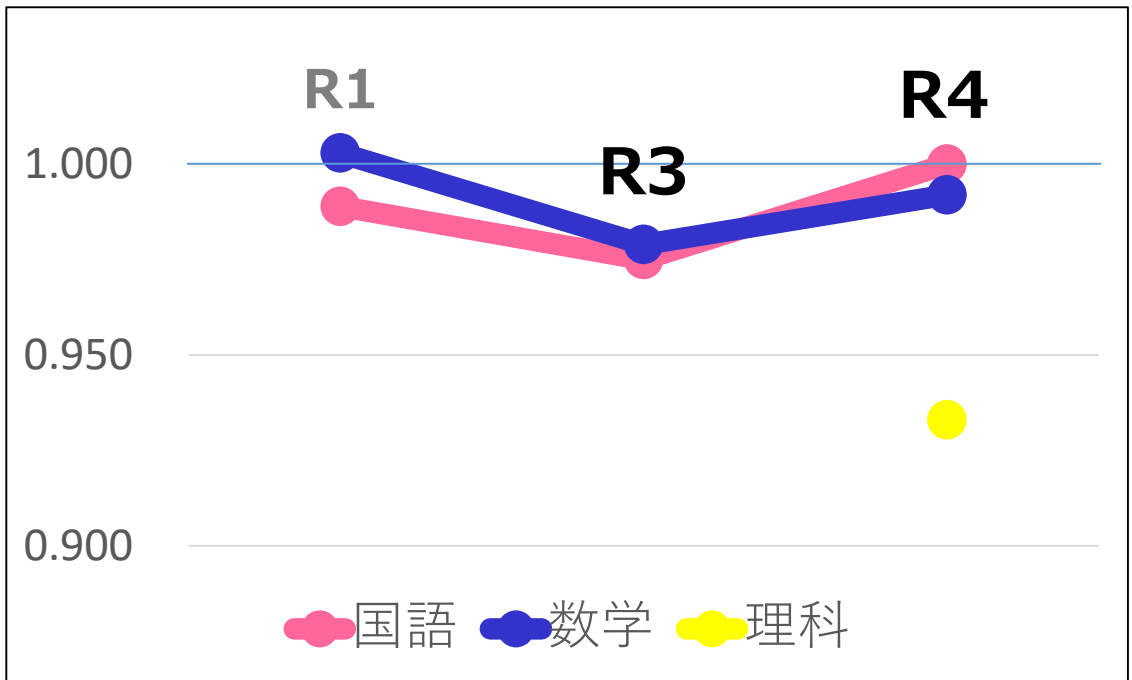
小学校について、
国語は全国平均とほぼ同じ。
算数は全国平均を上回っている。
理科は全国平均を下回っている。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<中学校 概要>

平均正答率

中学校	枚方市	大阪府	全国
国語	69	67	69.0
数学	51	51	51.4
理科	46	47	49.3

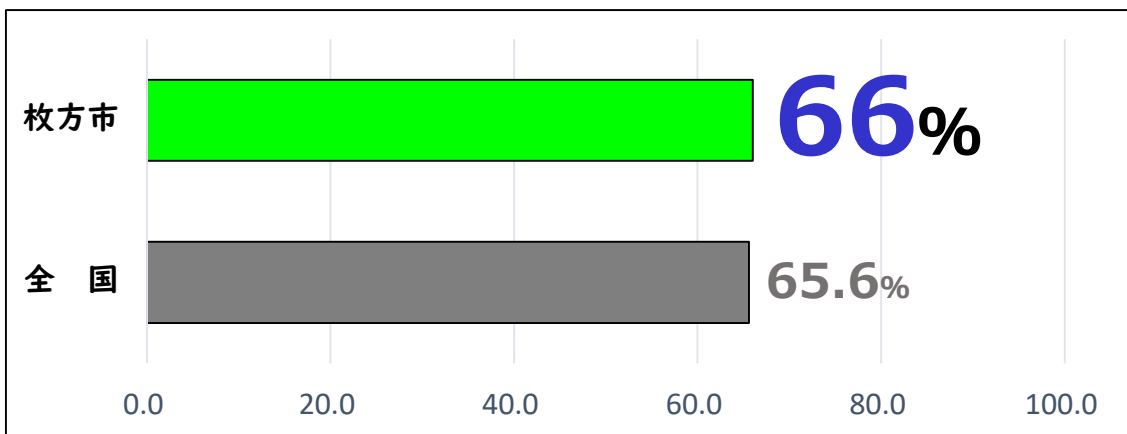
結果の推移 (対全国比)



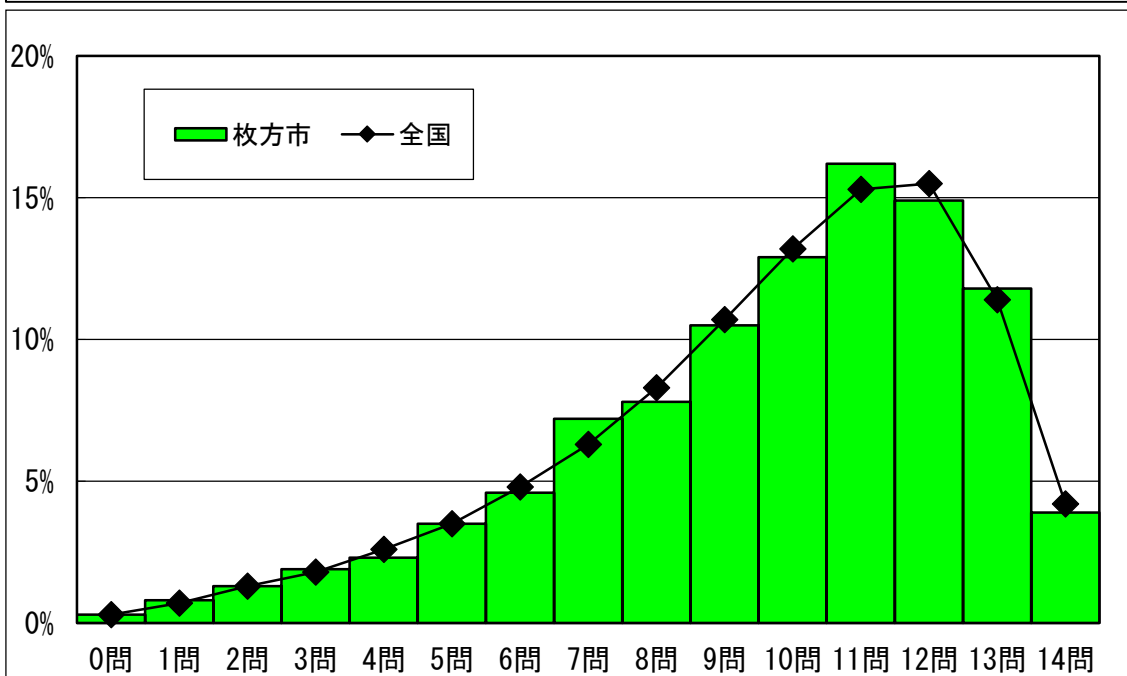
中学校について、
国語と数学は全国平均とほぼ同じ。
理科は全国平均を下回っている。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 国語>

正答率



正答数分布



分類・区分別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			枚方市	全国	
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	69.7	69.0	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	74.2	77.9	
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	66.8	66.2
		B 書くこと	2	46.8	48.5
		C 読むこと	4	67.8	66.6
評価の観点	知識・技能	6	70.5	70.5	
	思考・判断・表現	8	62.3	62.0	
問題形式	選択式	8	71.8	71.8	
	短答式	3	64.0	63.6	
	記述式	3	51.7	51.3	

成果があった設問

人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる設問。これまで本市の課題であった国語の記述式の問題において正答率が向上し、全国を上回った。

	正答率
枚方市	71.2
全国	68.3

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※右の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

- (条件)
- この物語から伝わってくることを考えて書くこと。
 - 十字以上、三十文字以内にまとめて書くこと。

これは、過去や未来にいきるうちゅう船を作りたいと思っている「ぼく」と、そんなうちゅう船を作った「老人」の物語です。
この物語は、「老人」が未来の「ぼく」かもしれないと思わせる表現をさがして読む楽しさを味わうことができます。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは前向きな気持ちになります。なぜかという、「老人」に出会った「ぼく」を通して、この物語がわたしに伝えてくれることがあるからです。それは、

A

〔森田さんの文章〕

二 森田さんは、物語から伝わってくることをまとめ、すいせんする文章を書いています。次は、「森田さんの文章」です。あなたが森田さんなら、Aに入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

A

2 森田さんの学級では、不思議な出来事が描かれている物語を読み、友達とすいせんし合うことになりました。森田さんは、「銀色の幻想」という題名の物語を選んで読み、気になるところにふせんをはっています。次は、「物語のこれまでのあらすじ」と「物語の一部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

大問2 問二

【問題の概要】

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

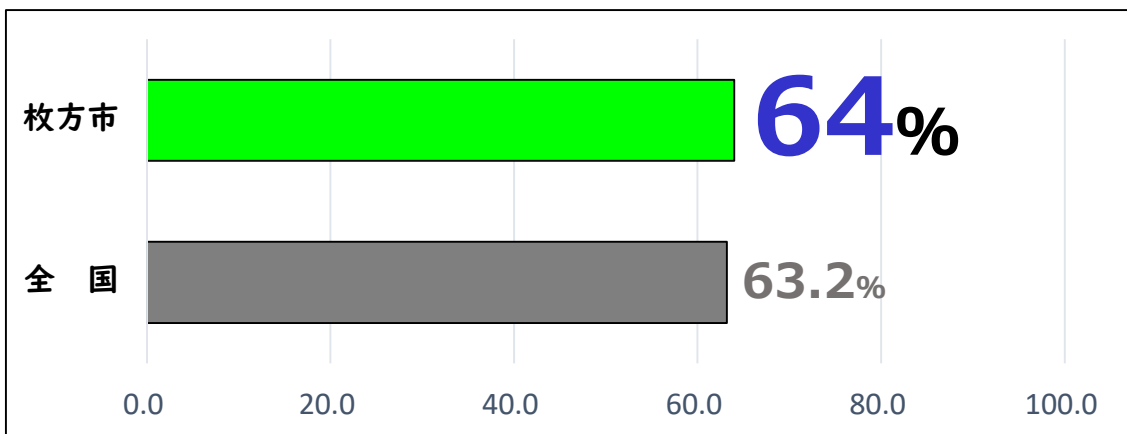
- ① この物語から伝わってくることを考えて書いている。
- ② 10字以上、30字以内で書いている。

(正答例)

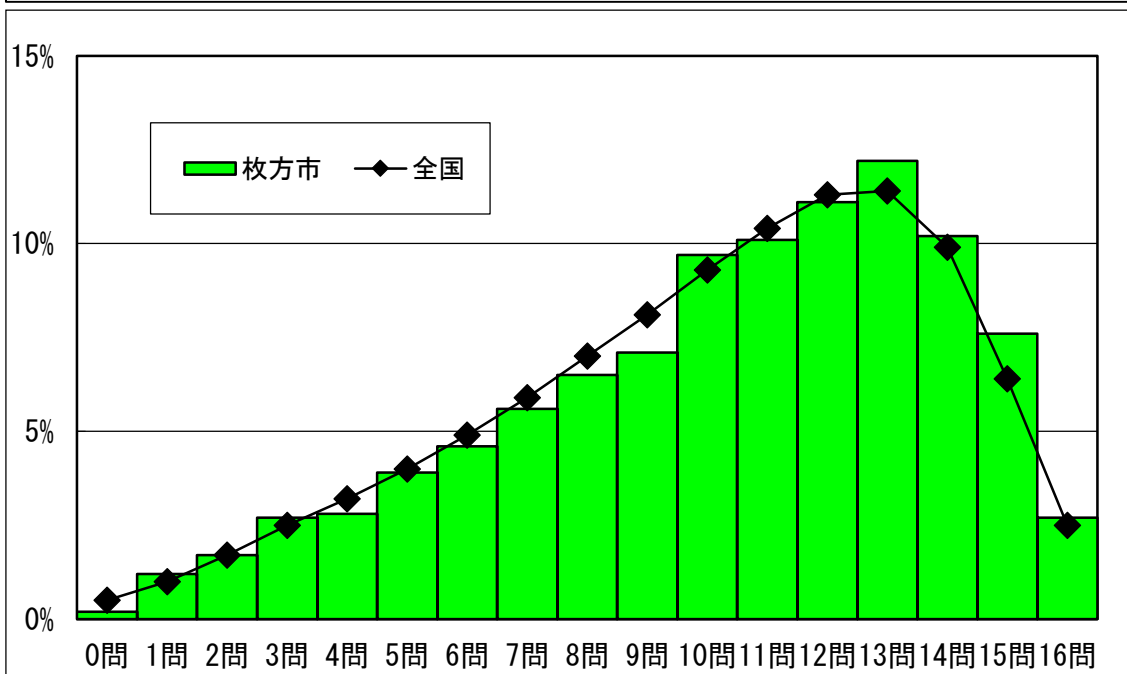
- ・ 夢をもち続ければ、いつかかなえられるということです。(26字)
- ・ 今を大切にすることが明るい未来につながるということです。(28字)
- ・ 好きなことをもつ大切さです。(14字)

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 算数>

正答率



正答数分布



分類・区別別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	全国
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	69.7	69.8
	B 図形	4	65.4	64.0
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	53.1	51.3
	D データの活用	3	70.8	68.7
評価の観点	知識・技能	9	69.4	68.2
	思考・判断・表現	7	57.6	56.7
問題形式	選択式	6	53.6	51.8
	短答式	6	77.4	76.5
	記述式	4	60.4	60.2

成果があった設問

加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる設問。これまで本市の課題であった算数の記述式の問題において正答率が向上し、全国を上回った。

	正答率
枚方市	68.4
全国	67.7

(4) 交流会の遊びの決め方として、別の意見が出ました。



あかり

1年生の希望をよりかなえてあげるほうがよいと思います。

あかりさんたちは、1年生の希望を1人につき10ポイント、6年生の希望を1人につき5ポイントとして計算し、1年生と6年生のポイント数の合計で遊びを決めることにしました。そこで、下の表を見直しました。

希望する遊び（交流会）

(人)

遊び 学年	輪投げ	かくれんぼ	なぞなぞ	縄とび	紙飛行機	合計
1年	15	14	10	7	4	50
6年	4	8	10	18	7	47

あかりさんは、輪投げのポイント数を次のように求めました。

【あかりさんの求め方】

輪投げを希望している人数は、1年生が15人、6年生が4人なので、輪投げのポイント数は、 $10 \times 15 + 5 \times 4 = 170$ で、170ポイントです。

【あかりさんの求め方】をもとにして、かくれんぼのポイント数を求めると、何ポイントになりますか。

1年生と6年生のそれぞれのポイント数の求め方がわかるようにして、かくれんぼのポイント数の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

大問3 問4

【問題の概要】

1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く

（正答の条件）

次の①、②、③の全てを書き、答えを180と書いている。

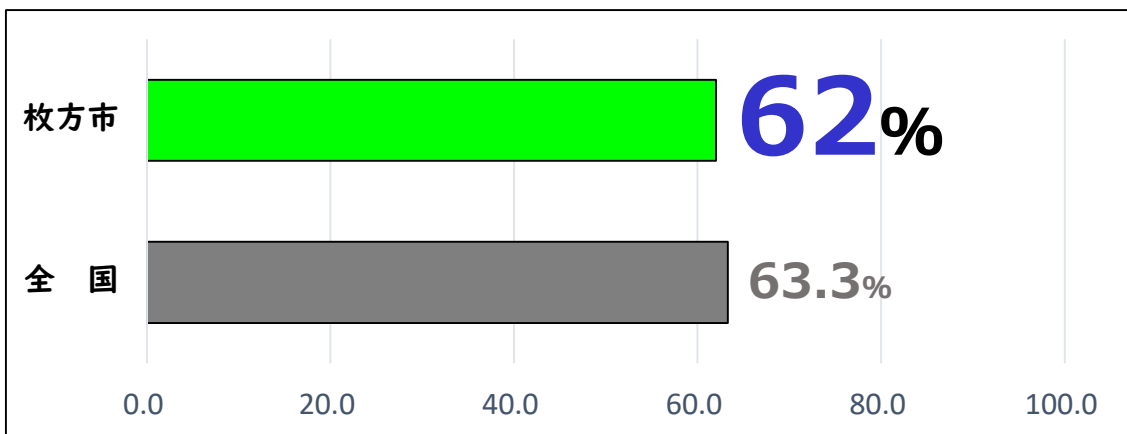
- ① かくれんぼを希望している1年生のポイント数を求める式や言葉
- ② かくれんぼを希望している6年生のポイント数を求める式や言葉
- ③ 1年生のポイント数と6年生のポイント数の合計を求める式や言葉

（正答例）

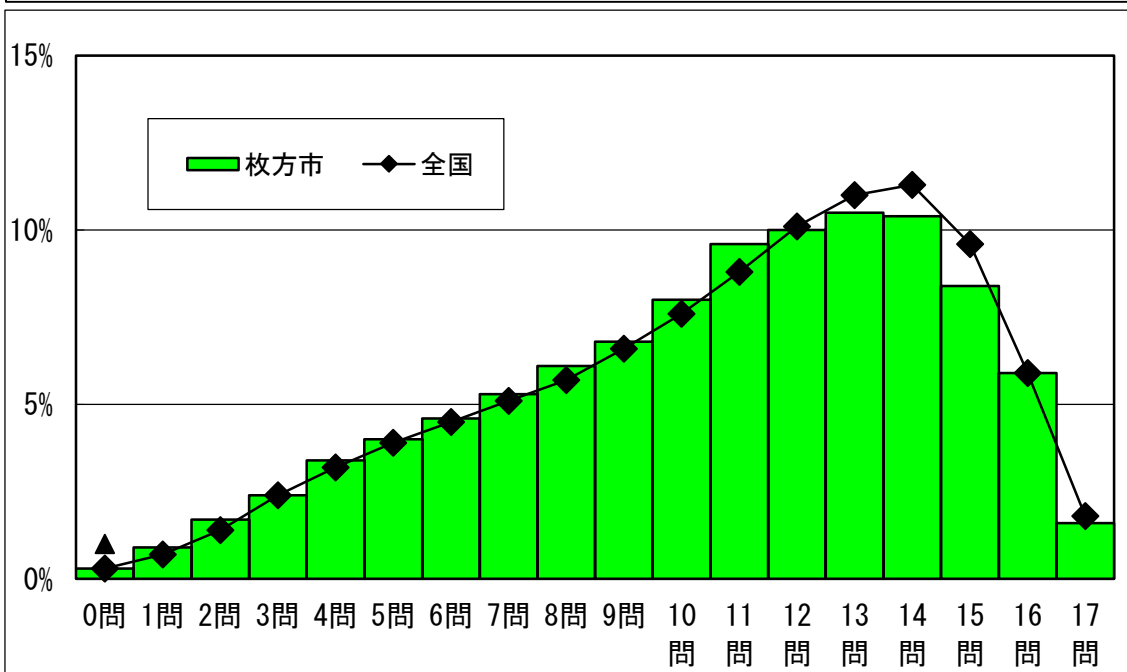
【求め方】 かくれんぼを希望している人数は、1年生が14人、6年生が8人なので、かくれんぼのポイント数は、 $10 \times 14 + 5 \times 8 = 180$ で、180ポイントです。【答え】 180（ポイント）

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 理科>

正答率



正答数分布



分類・区分別 集計結果

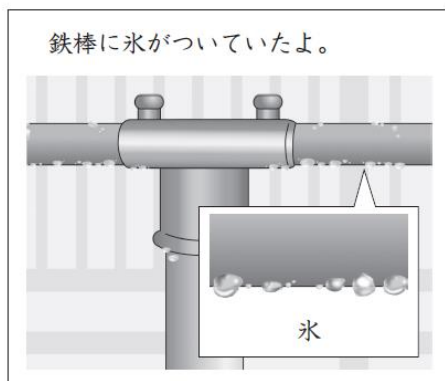
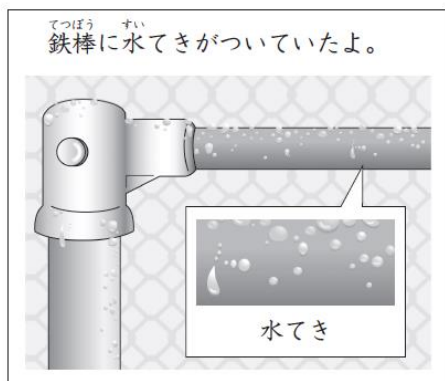
分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			枚方市	全国	
学習指導要領の 区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	50.0	51.6
		「粒子」を柱とする領域	5	60.0	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	5	73.5	75.0
		「地球」を柱とする領域	5	61.8	64.6
評価の観点	知識・技能	6	61.6	62.5	
	思考・判断・表現	11	62.4	63.7	
問題形式	選択式	11	65.6	66.8	
	短答式	3	64.6	66.2	
	記述式	3	47.0	47.3	

課題があった設問

水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる設問。
正答率が5割強と低く、全国を大きく下回った。

	正答率
枚方市	54.5
全国	62.0

(4) よしこさんは、インターネットを使って、各地の友達から朝のようすの写真を送ってもらいましたが、その中で2枚の写真が気に入りました。



よしこさんは、2つの現象を調べて、次のようにまとめました。

にあてはまることばを書きましょう。

朝、鉄棒に、水てきや氷がついていた。気温が下がり、空気中の が冷やされて、水てきや、水てきになったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「とうろ」というらしい。気温のちがいで、異なる現象が起こることがわかった。

大問4 問4

【問題の概要】

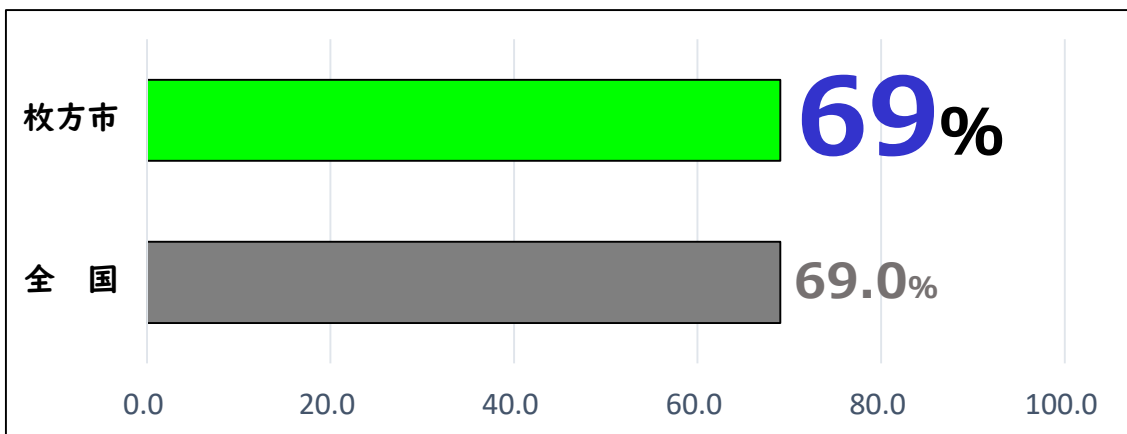
鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く問題

(正答例)

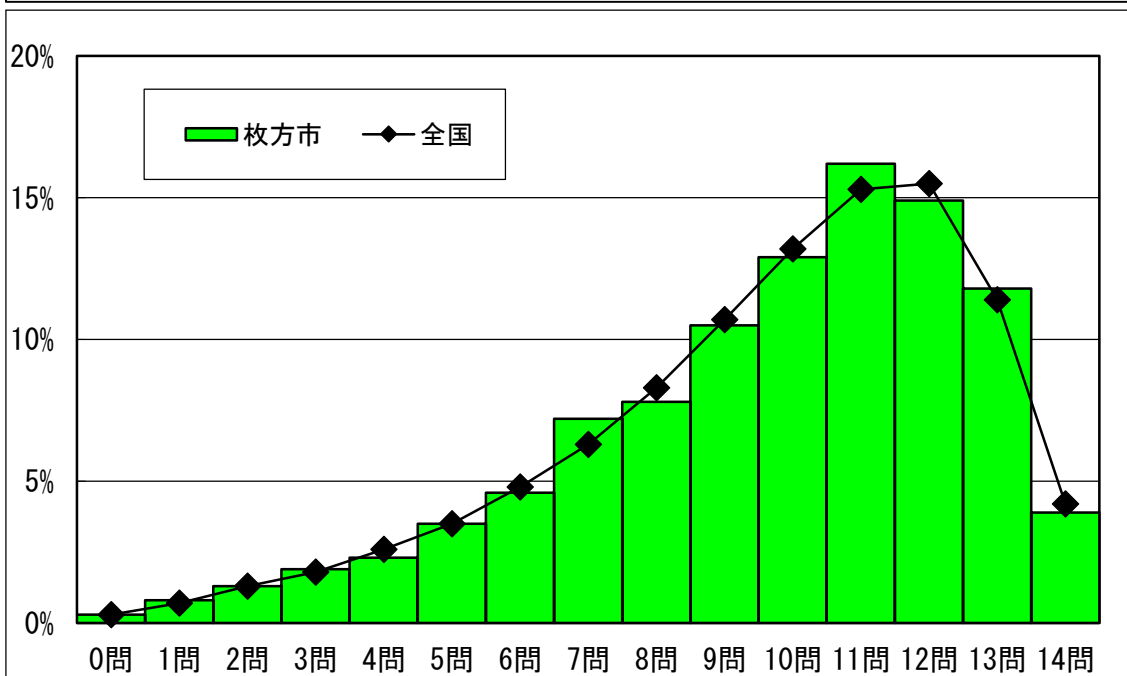
- ・水蒸気
- ・水蒸気という言葉は用いていないが、蒸発という言葉を用いた内容で解答しているもの
- ・水蒸気という言葉は用いていないが、水が気体に変化したものという内容で解答しているもの

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<中学校 国語>

正答率



正答数分布



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率 (%)		
			枚方市	全国	
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73.6	72.2	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	45.0	46.5	
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	69.3	70.2	
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	62.9	63.9
		B 書くこと	1	45.0	46.5
		C 読むこと	2	68.2	67.9
評価の観点	知識・技能	10	69.4	69.0	
	思考・判断・表現	6	61.7	62.3	
問題形式	選択式	6	73.3	73.7	
	短答式	5	70.7	70.3	
	記述式	3	57.4	57.4	

成果があった設問

自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる設問。これまで本市の課題であった国語の記述式の問題において正答率が向上し、全国を上回った。

	正答率
枚方市	53.4
全国	51.8

【川口さんのスピーチ】

最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。その変化は、学校での学習にも表れていると思います。例えば、授業でインターネットを活用する機会が増えました。特に、オンラインで離れた場所にいる人と会話することもできて、その便益を実感しています。一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行っていくという面もあるのではないかと思います。

先日、総合的な学習の時間で、離れた場所にいる施設の方にオンラインでインタビューをしたときのことです。私は、画面を通してやりとりをしているという状況に気を取られて、相手に必要最小限のことを伝えるだけで精一杯になってしまいました。そのため、相手の反応を踏まえたやりとりをすることができていないと感じました。後日、そのことを友達に話したところ、「私は、相手の言ったことに対して相づちを打つように気を付けていました」と話してくれました。

この言葉を聞いてはっとしました。オンラインであっても、相手と話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったのです。これからは、オンラインで人と話るときにも、このことに気を付けて、相手とのやりとりをスムーズに行えるようにしたいと思います。

【二人の会話の一部】

田中 ところで動画を止めてもええですか。「最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。」という部分は、聞き手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりする表現にしてみてもはどうでしょうか。「やりとりをスムーズに行っていく」という部分は、私も同じように感じたことがあり、この後のスピーチの内容に興味をもつことができるとよいと思います。

川口 ありがとうございます。

田中 川口さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているので、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてもどうでしょうか。例えば、「オンラインで離れた場所にいる人と会話すること」という部分は、伝えたい内容に関係することなので、聞き手に関心をもってもらうために、ゆっくり大きな声で話すときよいのではないのでしょうか。

川口 なるほど、他の部分も話し方を工夫してみます。

田中 オンラインでインタビューをしたときのことを入れてみましたが、どうでしょうか。

川口 身近な内容で共感できました。始めに話したこととつながっている点が良いと思います。



大問1 問3

【問題】

<二人の会話の一部>に「他の部分も話し方を工夫してみます。」とありますが、あなたならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【川口さんのスピーチ】のどの部分をどのようにして話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。

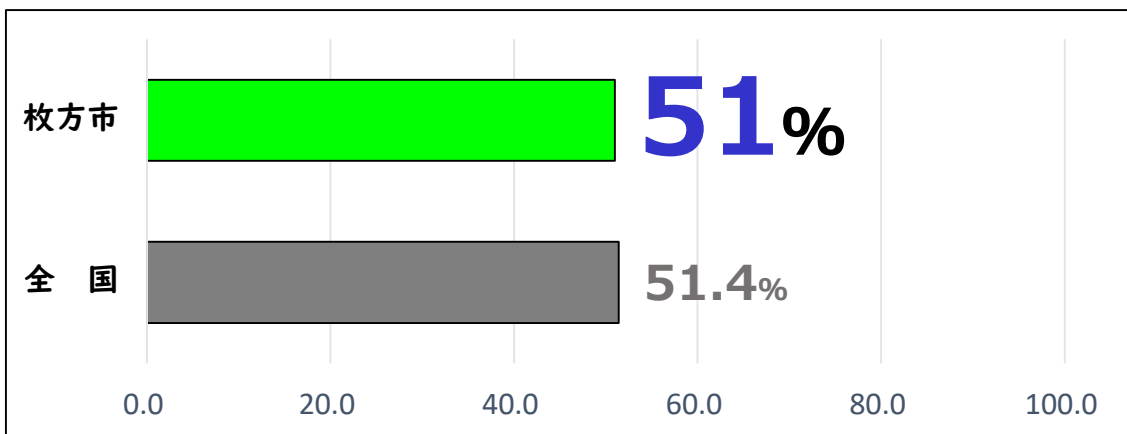
条件2 条件1のように話す意図を書くこと。

(正答例)

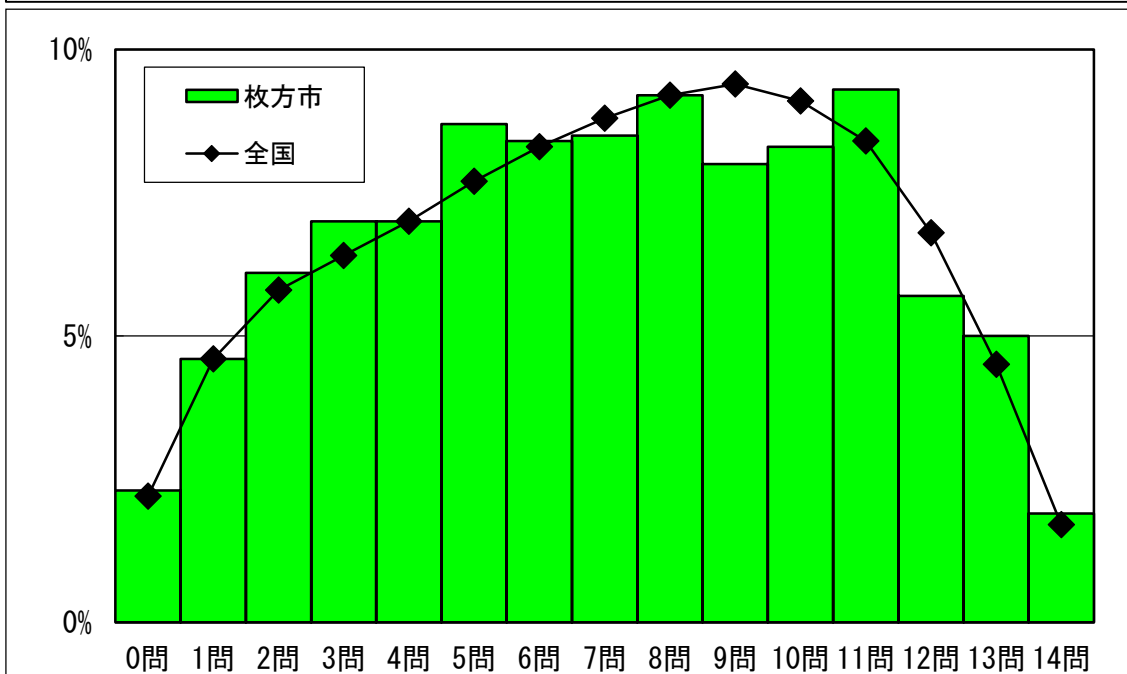
「オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったので。」という部分が一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果<中学校 数学>

正答率



正答数分布



分類・区分別 集計結果

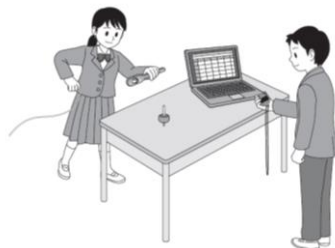
分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	全国
学習指導要領の領域	A 数と式	5	55.7	57.4
	B 図形	3	43.9	43.6
	C 関数	3	42.9	43.6
	D データの活用	3	57.0	57.1
評価の観点	知識・技能	9	58.8	59.9
	思考・判断・表現	5	36.3	36.2
問題形式	選択式	4	51.5	52.6
	短答式	5	64.6	65.7
	記述式	5	36.3	36.2

成果があった設問

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる設問。これまで本市の課題であった数学の記述式の問題において正答率が向上し、全国を上回った。

	正答率
枚方市	46.5
全国	44.0

大地さんと葉月さんは、コマAとコマBのうち、どちらのコマを使うかを検討することになりました。



(1) 二人は、どちらのコマがより長い時間回りそうかを調べるために、2つのコマを20回ずつ回し、それぞれのコマが回った時間のデータを集めました。そして、それぞれのデータについてヒストグラムをつくり、それらを比較して考えることにしました。

7 学級でコマ回し大会をします。この大会では、次の図のようなひもを引いて回すコマを使って一人1回コマを回し、最も長い時間コマを回した人を優勝とします。



図1 コマAが回った時間

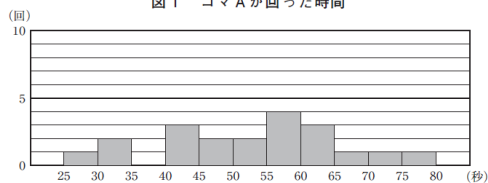
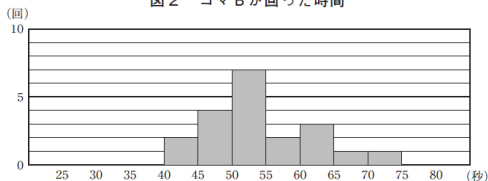


図2 コマBが回った時間



大問7 問1

【問題】

図1、図2のヒストグラムの特徴をもとに、より長い時間回りそうなコマを選ぶとすると、あなたならどちらのコマを選びますか。下のア、イの中からどちらか一方のコマを選びなさい。また、そのコマを選んだ理由を、2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらのコマを選んで説明してもかまいません。

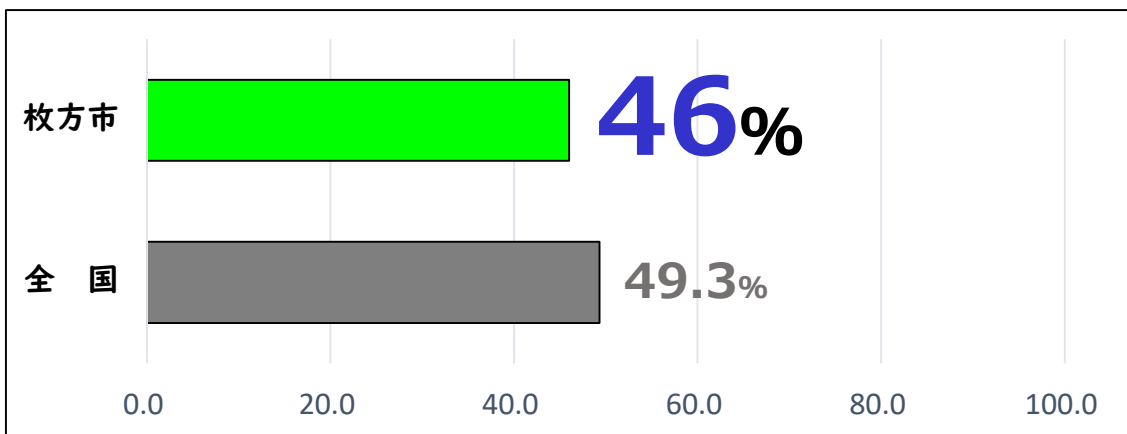
(正答例)

コマAの回った時間の方がコマBの回った時間より55秒以上の階級の度数の合計が大きいので、コマAの方がより長い時間回りそうなコマである。だから、コマ回し大会ではコマAを選ぶ。

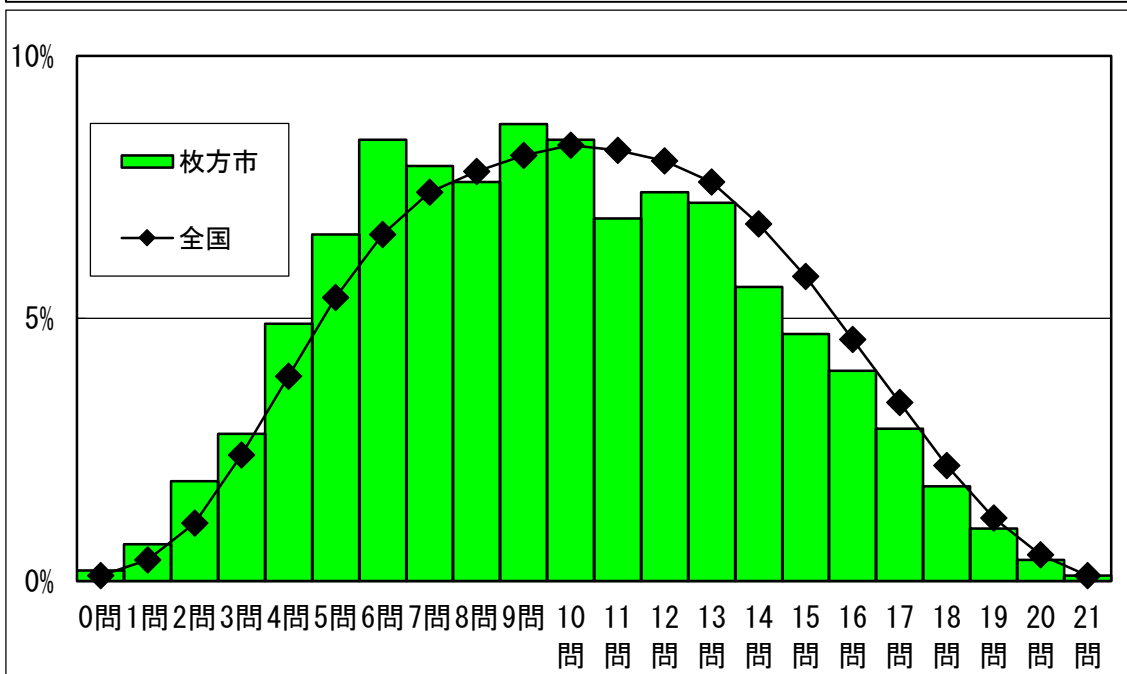
コマBの回った時間の方がコマAの回った時間より50秒以上の階級の度数の合計が大きいので、コマBの方がより長い時間回りそうなコマである。だから、コマ回し大会ではコマBを選ぶ。

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果 < 中学校 理科 >

正答率



正答数分布



分類・区分別 集計結果

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			枚方市	全国
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	38.8	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	48.0	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	53.3	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	42.8	44.3
評価の観点	知識・技能	7	43.0	46.1
	思考・判断・表現	14	48.1	51.0
問題形式	選択式	15	47.4	49.6
	短答式	1	20.7	24.8
	記述式	5	48.8	53.5

課題があった設問

アリの行列の作り方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる設問。正答率の全国との比較で、全設問中最も差がある。

	正答率
枚方市	48.1
全国	55.2

【課題1】

アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験1】

① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。

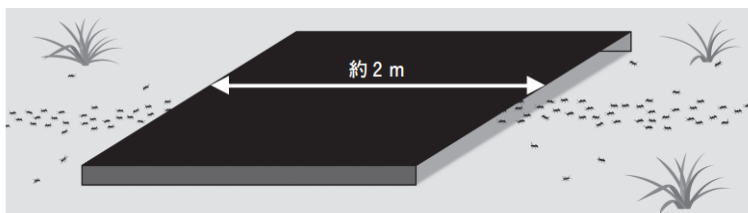
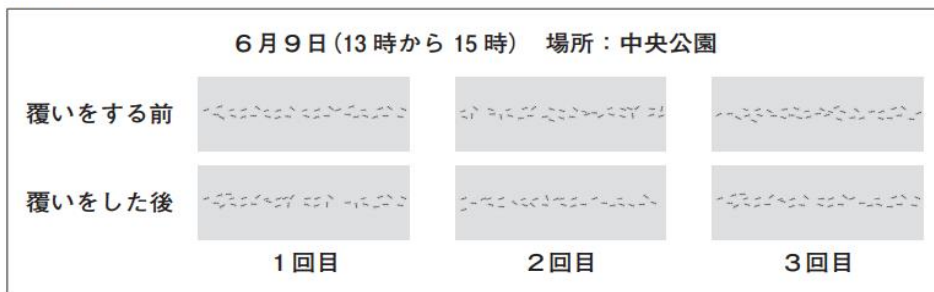


図 覆いをしたようす

② 覆う前後の行列のようすを写真に撮り、比較する。

【結果1】



【考察1】

この実験の結果からは、アリの行列のようすは ので、 と考えられる。

大問8 問1

【問題の概要】

アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する

【問題】

、 に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい。

(正答例)

P 変化しない

Q 視覚による情報をもとに行列をつくらない

児童生徒調査の結果

※下線部は該当項目が多いため、
まとめて表示したものです。



【小中学校共通の状況】

★特に望ましい状況にある項目(全国比+10P以上)

○:望ましい状況にある項目(全国比+3P以上) ▲課題と考えられる項目(全国比-3P以上)

★ICTを活用し学習を行うことに関する全項目

- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 自分の考えがうまく伝わるよう資料や文書・話の組み立てなどを工夫して発表した。
- 自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行った。
- ▲今住んでいる地域の行事に参加している。

【小学校の状況】

○:望ましい状況にある項目(全国比+3P以上) ▲課題と考えられる項目(全国比-3P以上)

- 自分にはよいところがあると思う。
- 先生はあなたのよいところを認めてくれている。
- ▲家で自分で計画を立てて勉強をしている。



【中学校の状況】

★特に望ましい状況にある項目(全国比+10P以上)

○:望ましい状況にある項目(全国比+3P以上) ▲課題と考えられる項目(全国比-3P以上)

- ★授業では各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。
- 学級の友達と協力して学習や学校生活を行うことについての全項目
- 自分の目標や課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組むことに関する項目
- 平日に2時間以上勉強している。(授業以外)
- ▲休日に3時間以上勉強している。

<本調査について>

- 解答時間は十分だった。

小学校・中学校ともに、

**「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか
(複数選択)」**

に対して、「**家で勉強や読書をしている**」を選択している児童・生徒ほど、各教科の正答率が高いことがわかりました。

(他の選択肢の中にあつた「学習塾など学校や家以外の場所で勉強している」という項目より、「家で勉強や読書をしている」という項目の方が、学力調査との相関関係が強く出ています。)

家庭学習の定着に向けて、宿題の質を工夫(探究型、予習型等)するとともに、授業を通して知的好奇心を高めるような働きかけを行い、自学自習力や読書習慣を育ててまいります。

また、「生活習慣」と「学力」には相関関係があることから、保護者の皆様による家庭における生活習慣・学習習慣の確立に向けて、ご協力をよろしくお願いいたします。

枚方市が大切にしている5つのCの視点（非認知能力の育成）

枚方市では、学習指導要領が示す、これからの子どもたちに必要な資質・能力を育成するために、Cから始まる5つの視点を大切にします。1人1台のタブレット端末を活用し、5つのCの視点を意識し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身につけていきます。

Challenge チャレンジ 挑戦

学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成したりするために、困難な問題や未経験のこと等に積極的に取り組めます。また、自分自身で新たな課題を発見します。

問題発見
問題解決



家庭学習
学習習慣

粘り強さ
積極性

Communication コミュニケーション 意思伝達

相手の立場を意識しながら、自分の考えを相手にわかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意見や考えを正しく理解するために聴きます。

発表
プレゼン
テーション



遠隔授業
オンライン

対話
議論
意見交流

Collaboration コラボレーション 協働

課題を解決したり目的を達成したりするために、自分と異なる考えを持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

多様な
考えの尊重



連携
協働制作

Creativity クリエイティビティ 創造

課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを表現します。また、アイデアを相手と共有することで、より深まりのあるアイデアを創り出します。

創造



表現
制作

アイデア
の共有

Critical thinking クリティカルシンキング 思考・判断

物事を多面的な視点からとらえながら、調べた内容や相手の意見などの情報を正しく判断するために、その理由や事実に矛盾がないかどうかについて、自ら考え、分析し、判断します。

批判的
思考



情報分析
判断

枚方版ICT教育モデル

【<https://onl.tw/Zw76PeS>】



調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

答えは、

$\frac{1}{4}$ 、 $\frac{25}{100}$ 、 $\frac{1}{4}$ と大きさの等しい分数を解答しているもの

(いずれも正解)

でした！

